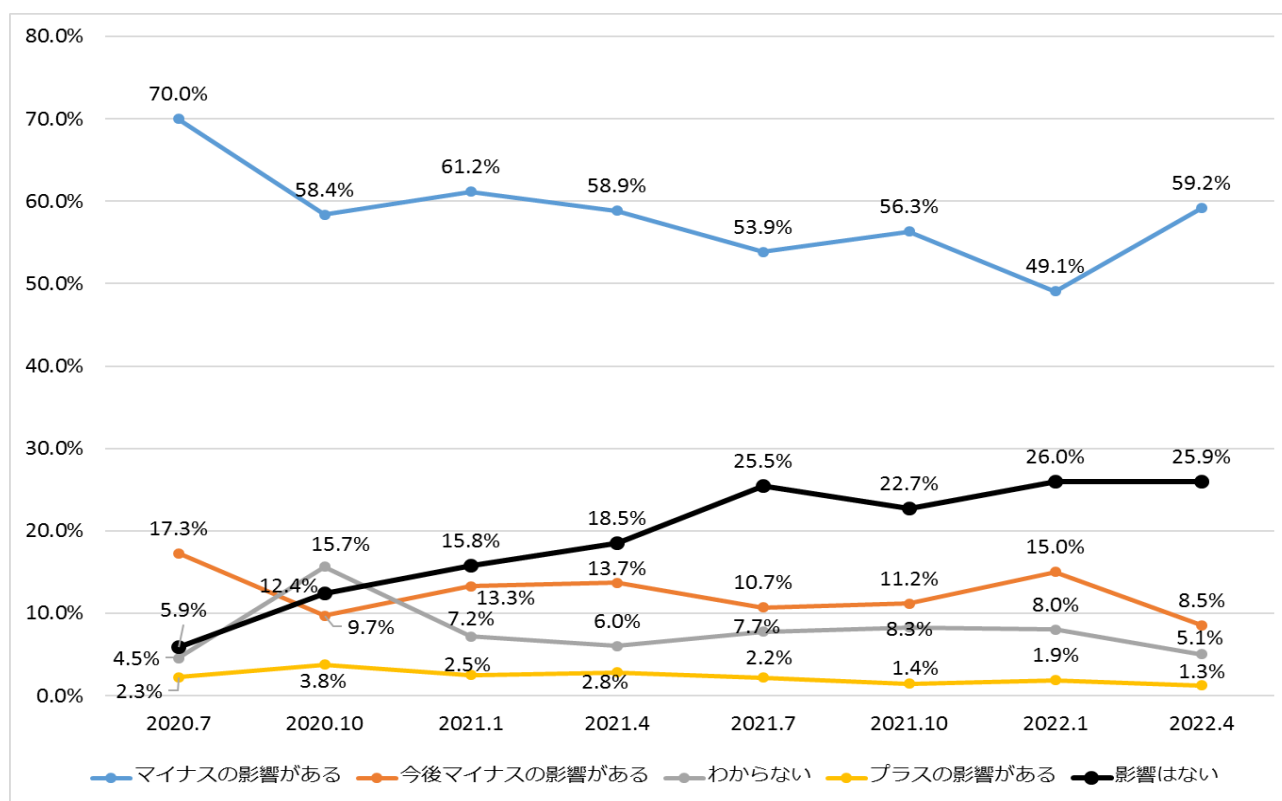


富山県内の中小企業に与える新型コロナウイルスの影響と人材育成について

回答企業数	316 社(うち、製造業 55 社、非製造業 261 社)
調査企業数	656 社
調査時期	2022 年 4 月上旬
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施(中小企業動向調査と同時に実施)

「中小企業動向調査アンケート」回答結果 (新型コロナウイルス関連)

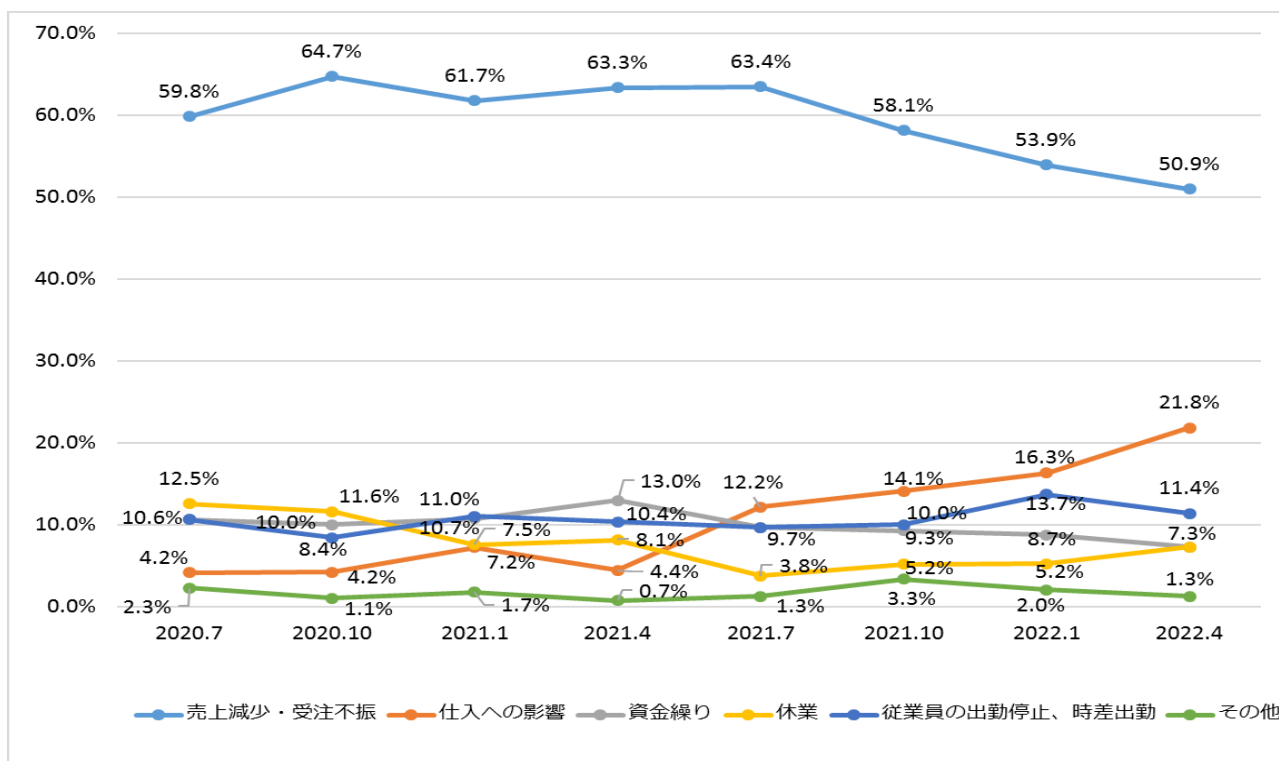
設問：新型コロナウイルスによる業績への影響はどうか



・「マイナスの影響がある」と答えた企業は前回調査(2022 年 1 月)では、アンケート開始以降最も低い水準となりました。しかし今回調査では高い水準で増加に転じています。

設問：具体的にはどのような影響がありますか(複数回答可)

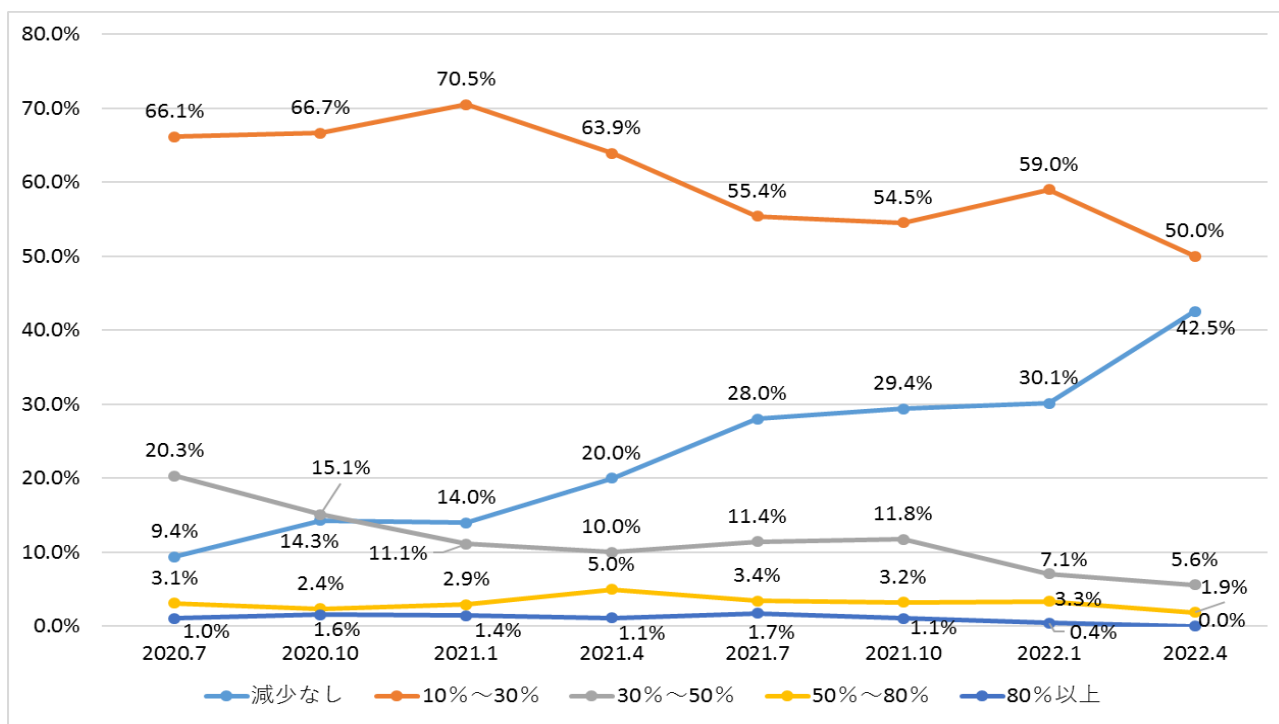
※「既にマイナスの影響がある」、「今後マイナスの影響がある」と回答された方のみ回答



・「仕入れの影響」と答えた企業が引き続き大きく上昇しており、今回調査では 21.8%となっています。また仕入れに関してはコロナ禍に併せて円高や原油高、半導体不足等による影響が複層的に生じている可能性があります。

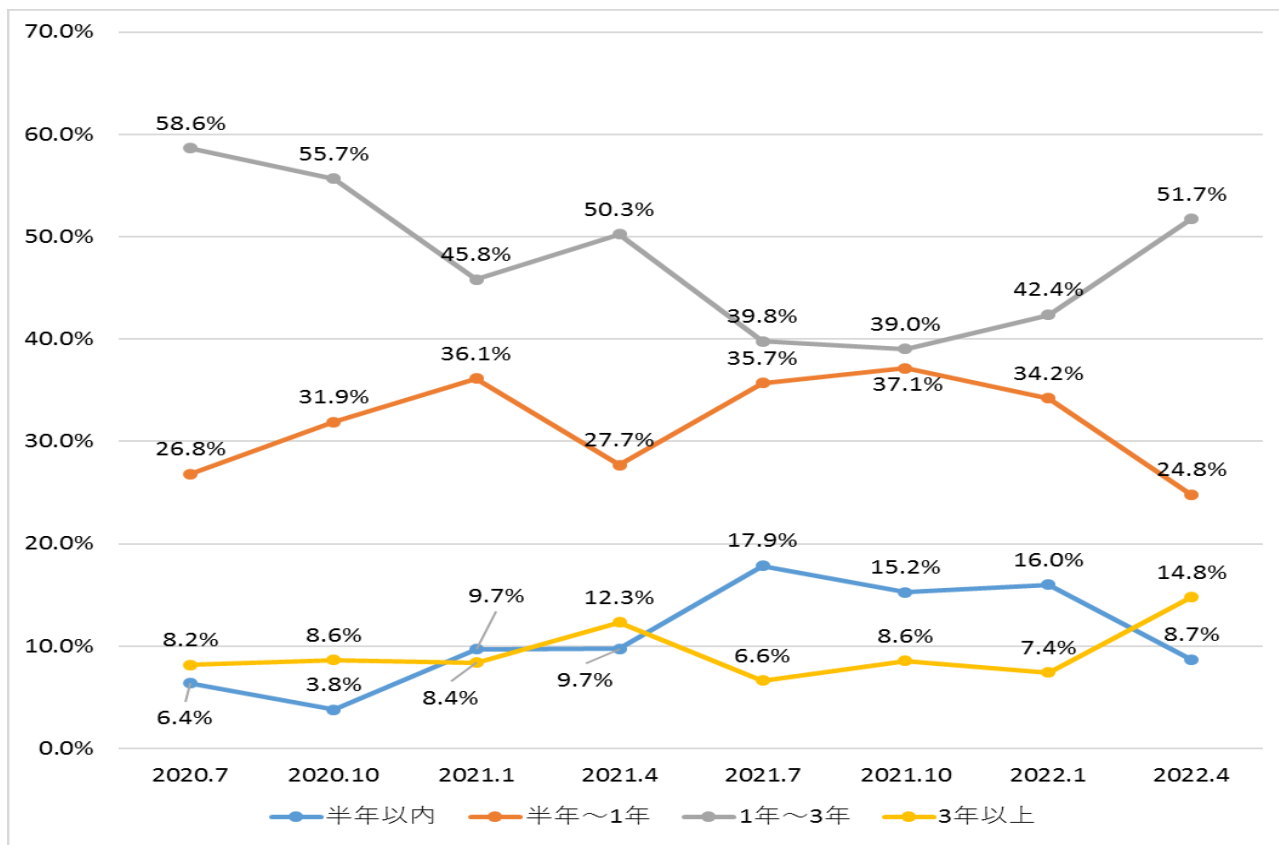
設問：今後半年間で売上の減少率はどれくらいを想定していますか

※「既にマイナスの影響がある」、「今後マイナスの影響がある」と回答された方のみ回答



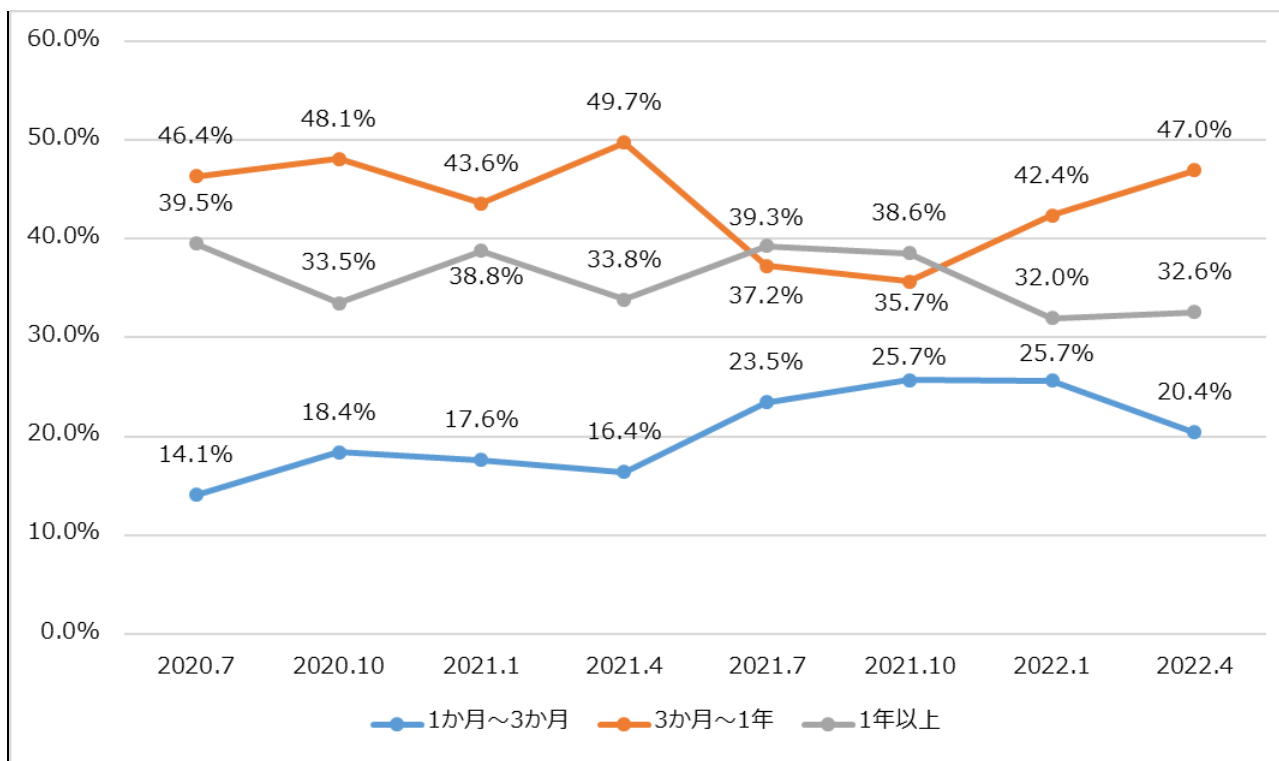
・最も割合の多い減少率「10～30%」と答えた企業が減少し、逆に「減少なし」とする企業が大幅に増加の 42.5%となり、逆転の様相にあります。売上見通しのマインドは総じて改善基調にあります。

設問：新型コロナウイルスの影響は今後どれくらいの期間続くと考えていますか



・「1年～3年」と答えた企業が最も多く51.7%となっています。次いで多いのが「半年～1年」となっており、24.8%となっています。

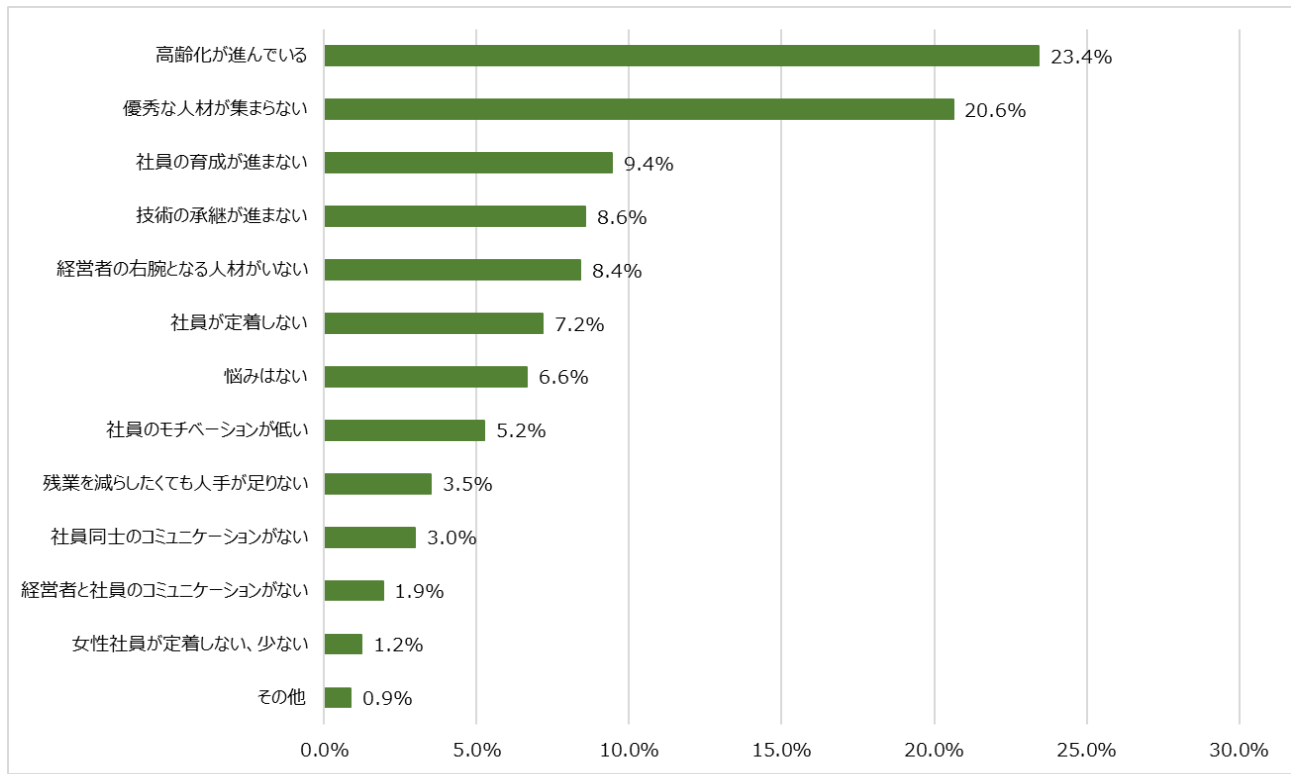
設問：現状のコロナ影響が続く場合の資金猶予期間はどれくらいですか



・「3ヶ月～1年」と答えた企業が47.0%と4.6ポイント増加、「1年以上」と答えた企業が32.6%と前回比0.6ポイント増加しております。「3ヶ月～1年」の期間の増加が顕著です。

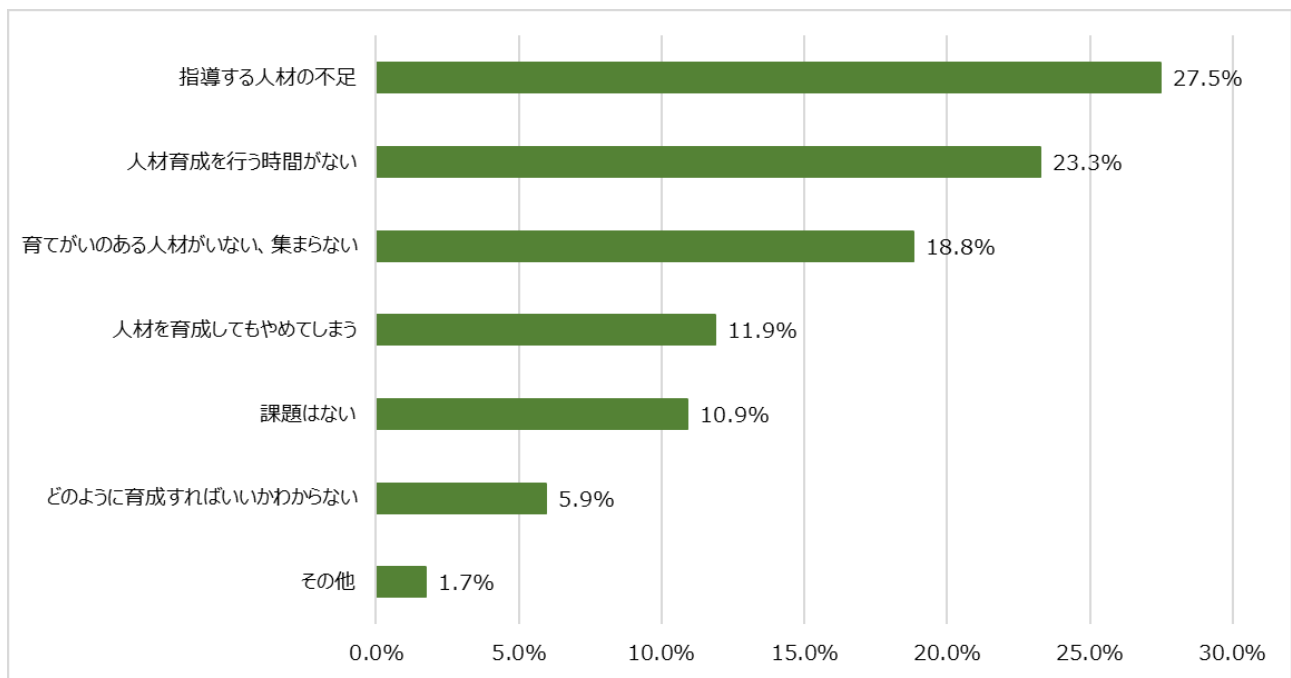
「中小企業動向調査アンケート」回答結果（人材育成について）

設問：人材について、どのような悩みがありますか（複数回答可）



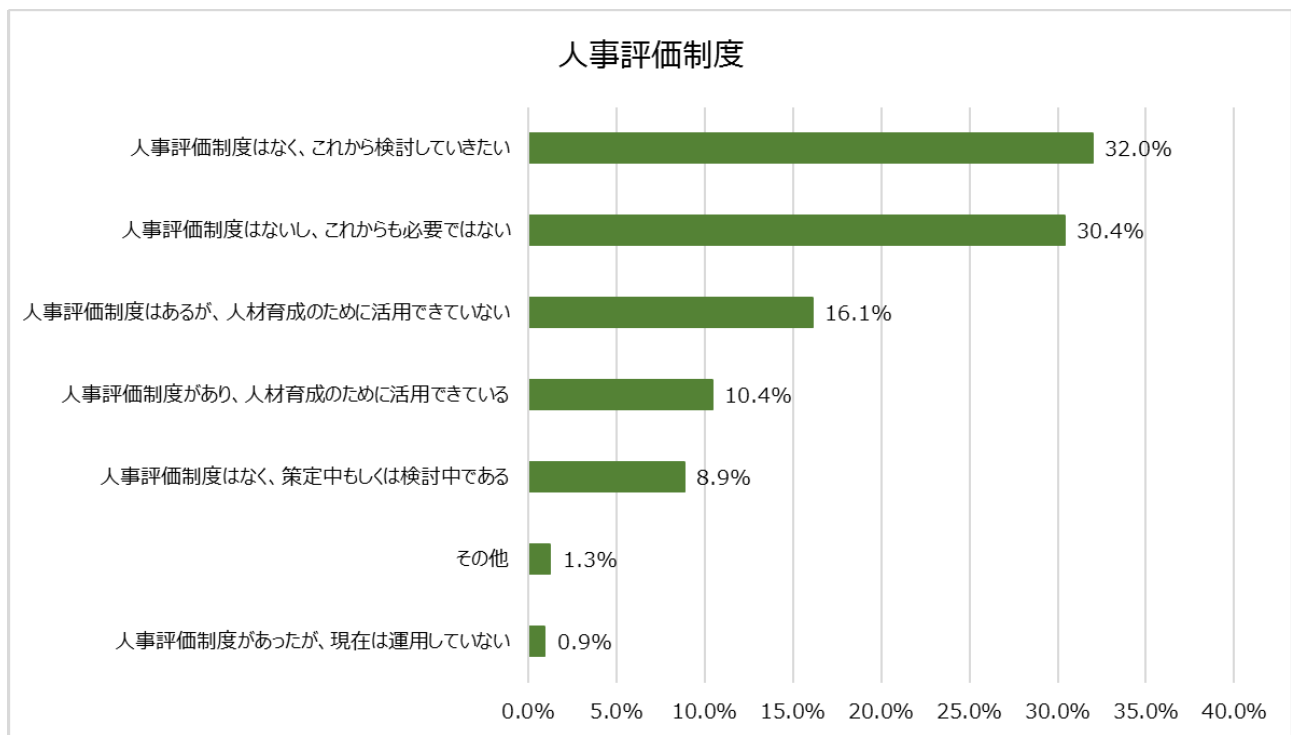
・「高齢化が進んでいる」が最も多く23.4%、ついで多いのが「優秀な人材が集まらない」で20.6%と続きます。人手不足に伴う悩みが上位となっている状況です。

設問：人材育成について、どのような課題がありますか（複数回答可）



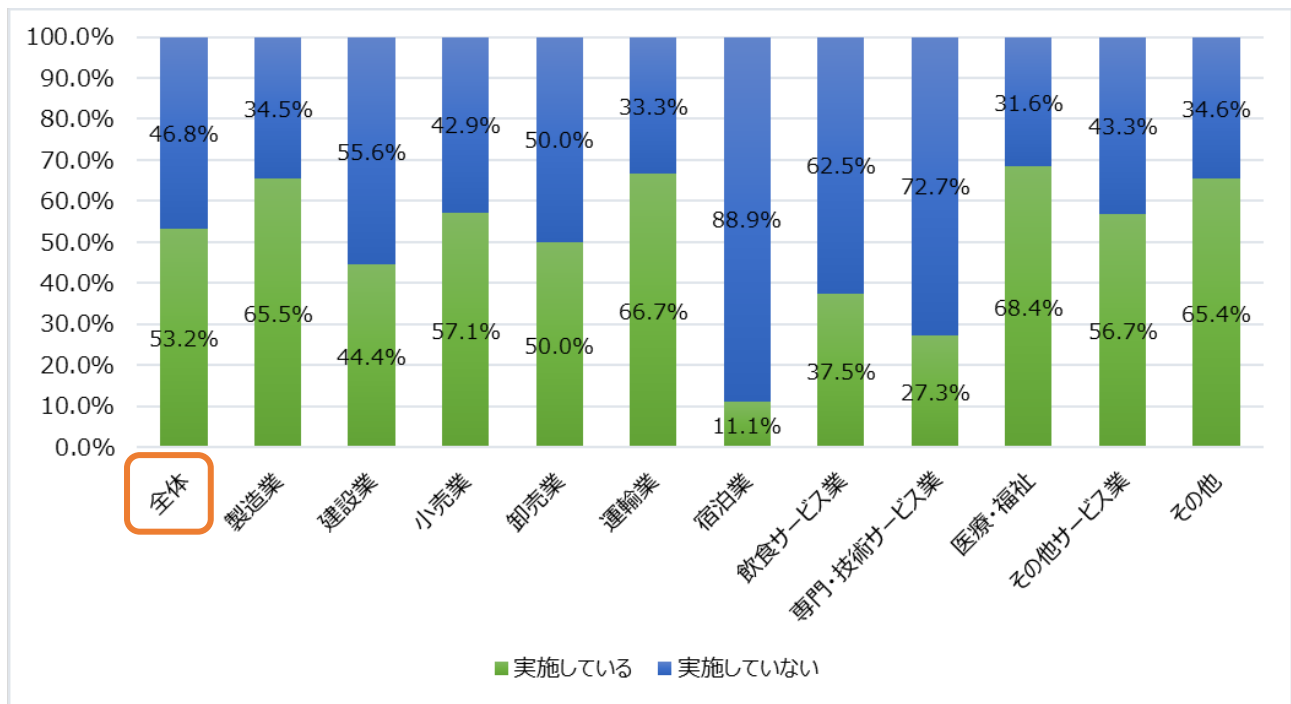
・「指導する人材の不足」が27.5%と最も多くなっています。ついで「人材育成を行う時間がない」が23.3%、「育てがいのある人材がいない、集まらない」が18.8%となっています。

設問：人事評価制度について



・「人事評価制度はなく、これから検討していきたい」が最も多く 32.0%、ついで多いのが、「人事評価制度はないし、これからも必要ではない」で 30.4%となっています。人事制度がないと答えた企業が全体の 71.3%を占めております。

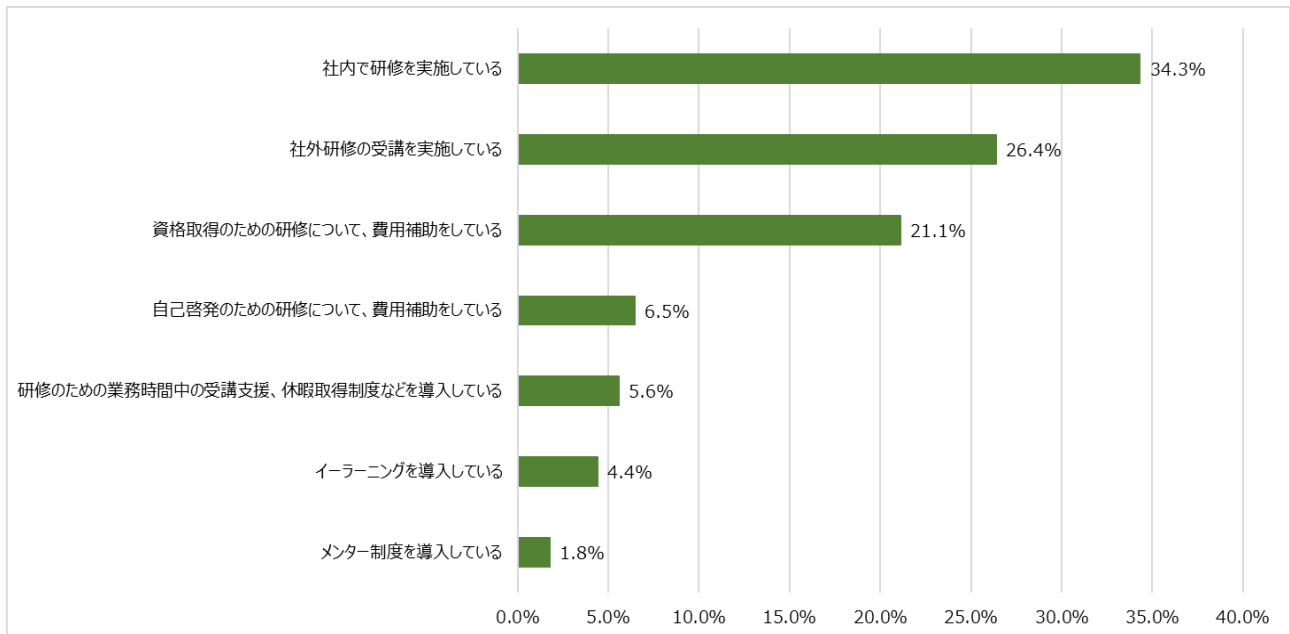
設問：研修の実施状況について



・全体では「実施している」が 53.2%で、「実施していない」が 46.8%となっています。
 ・「実施している」が全体平均の 53.2%より多い業種は、製造業、小売業、運輸業、医療・福祉、その他サービス業となっています。

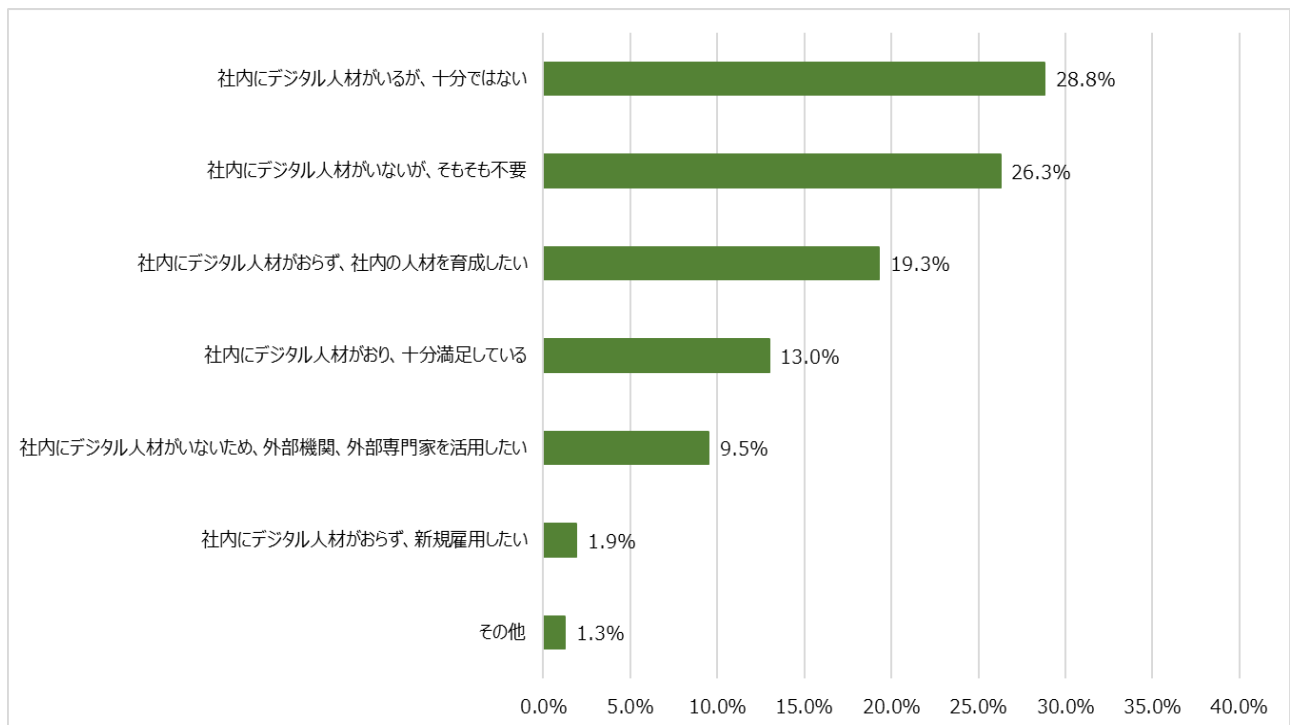
設問：研修内容について(複数回答可)

※「研修を実施している」と回答された方のみ回答



・「社内で研修を実施している」が最も多く 34.3%、ついで多いのが、「社内研修の受講を実施している」で 26.4%となっており、社内外で研修に取り組まれている実態がうかがえます。

設問：デジタル人材について



・「社内にデジタル人材がいるが、十分でない」が最も多く28.8%となっています。ついで多いのが「社内にデジタル人材がいないが、そもそも不要」で 26.3%となっています。デジタル人材がいないと答えた企業は全体の 57%を占めており、今後の課題であるといえます。